

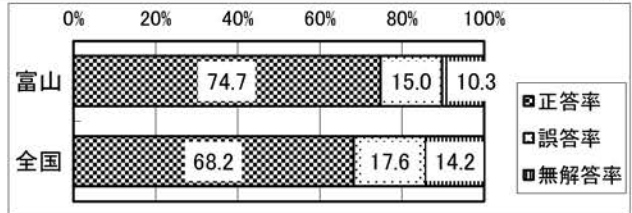
(2) 国語 問題番号3三 <無解答率が高い問題>

学習指導要領の領域等：5・6学年 A話すこと・聞くこと工

評価の観点：国語への関心・意欲・態度、話す・聞く能力 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

- ・ 正答率は74.7%で、全国平均より6.5ポイント高いが、無解答率が10.3%と高い。
- ・ 誤答については、ふさわしい言葉遣いで書いているが、発言から言葉や文を取り上げていない解答が6.0% (全国 5.6%)である。



正答例 (特に、) 自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと、ちょう戦し続けているところが心に残りました。(57字)

三 岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。「インタビューの様子」の「イ」に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 「インタビューの様子」の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
- インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。
- 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

3 岸さんは、町の広報紙に取り上げられていた量職人の大谷さんを、学級の友達に紹介するために、大谷さんにインタビューをすることにしました。次は、「広報紙の記事」、「直接聞いてみたいこと」、「インタビューの様子」(略)

【広報紙の記事】 (略)

【直接聞いてみたいこと】 (略)

【インタビューの様子】 (略)

大谷さん 量を作る技術やお客様への接し方は、とにかく親方の仕事ぶりをよく見ていました。岸さん 大谷さんは、親方の姿をよく見て技術や接し方を身につけたんですね。大谷さん いやいや、見るだけでは身につけられません。「習うより慣れよ」ということわざにもあるとおり、実際に自分でやってみることを何度もくり返すのです。私はとても不器用なので大変さはありませんが、何とか親方のようになりたいたいと思います。修業をしていました。

岸さん そのような思いをもっていたんですね。大谷さんは、他に、どのような思いや考えをもつて、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん 思いや考えですか。なかなか難しい質問ですね。

岸さん すみません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にしてきたことや心構えはありますか。

大谷さん そうですね。五十年も職人をしてきましたが、いまだに完べきだと思える仕上がりはありません。だからこそ、自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと挑戦し続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことですかね。

岸さん お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、

イ またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

学習指導上の留意点

- 目的を明確にして情報を関係付けながら聞き、自分の考えをまとめることができるようにする
自分の考えをまとめるためには、相手からどのような情報を聞き出し、その情報をどのように活用するのかのように、インタビューの目的を明確にもって聞くことが重要である。目的に応じて、一番聞きたかったことを中心に自分の考えをまとめることができるように指導することが大切である。

指導のポイント

- ① 児童がインタビューに必然性を感じることができる話題の設定や、インタビューの成果を生かす場を設定する。
- ② インタビューの前に、自分の考えをもったり、自分もっている情報と知りたい情報とを整理したりする活動を設定する。
- ③ インタビューの際には、自分もっている情報と関係付けて、分からないことを問い返したり、相手の話につなげてさらに詳しく問うたりできるように指導する。

・ 参考：報告書 26年度 P.48～P.57 28年度 P.52～P.59 30年度 P.52～P.59
授業アイデア例 30年度 P.4 31年度 P.7～P.8

2 小学校「算数」

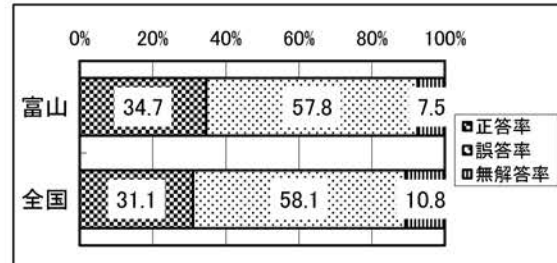
(1) 算数 問題番号3(2) <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領の領域：3学年 A数と計算(2)ウ 4学年 A数と計算(3)エ

評価の観点：数学的な考え方 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

- ・正答率は34.7%で、全国より3.6ポイント高いが、算数の中では最も低い。
- ・無解答率が7.5%と、算数の中では最も高い。
- ・誤答については、「わられる数」「わる数」「商」の言葉は使っているが、わられる数とわる数に同じ数をかけること、わられる数とわる数を同じ数でわること、商が変わらないことを記述していない解答が26.7%(全国25.9%)と多い。



3 ゆいなさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもとにした考えをふり返って、次のようにまどめました。

【ゆいなさんがまどめたこと】

ひき算では、
ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、
ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、
差は変わりません。
このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 \div 25$ や $90 \div 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、下のように考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 400 \div 25 = \square \\ \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\ 1600 \div 100 = 16 \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \text{変わらない} \\ \text{変わらない} \end{array} \right\}$$

だから、 $400 \div 25$ の答えの \square は、16です。

$$\begin{array}{r} 90 \div 18 = \square \\ \downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9 \\ 10 \div 2 = 5 \end{array} \quad \left. \begin{array}{l} \text{変わらない} \\ \text{変わらない} \end{array} \right\}$$

だから、 $90 \div 18$ の答えの \square は、5です。

(2) ひき算について書かれた【ゆいなさんがまどめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまどめると、どのようになりますか。

下の□の中に、「わられる数」「わる数」「商」の3つの言葉を使って

わり算では、
※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。
このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

<正答の条件>

次の①、②、③の全てを書いている。

- ① わられる数とわる数に同じ数をかけることを表す言葉
- ② わられる数とわる数を同じ数でわることを表す言葉
- ③ 商が変わらないことを表す言葉

正答例

わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数を同じ数でわっても、商は変わりません。

学習指導上の留意点

- 計算に関して成り立つ性質を見だし、表現することができるようにする
適用する数の範囲を広げていきながら統合的・発展的に考え、計算に関して成り立つ性質を見だし、表現できるよう指導することが大切である。

指導のポイント

- ① 商が同じになるいくつかの除法の式を基に、除法に関して成り立つ性質を見いだす活動においては、被除数や除数、商について、適用する数の範囲を広げながら、見いだしたことがほかの数値の場合でも成り立つかどうかを確認することができるようにする。
- ② 児童自らが見いだした除法に関して成り立つ性質を、算数の用語を用いて一般的に表現することができるようにする。
- ③ 小数や分数の除法や、同じ大きさを表す分数等の学習場面においても、除法に関して成り立つ性質が用いられていることを確認する場を設定する。

・参考：授業アイデア例 31年度P.11～P.12

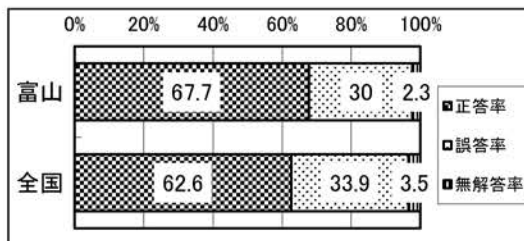
(2) 算数 問題番号4(3) <改善がみられた問題>

学習指導要領の領域：5 学年 B 量と測定(4)ア D 数量関係(1)ア

評価の観点：数学的な考え方 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 示された場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、所要時間の求め方と答えを言葉や数を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することができるかどうかをみる。

- ・ 正答率は、67.7%で、全国平均よりも5.1ポイント高い。関連する問題（平成25年度B問題4(1)）の正答率47.3%から改善している。
- ・ 誤答については、1ポール分進むのにかかる時間を捉えることができなかった児童が、17.4%（全国19.7%）である。

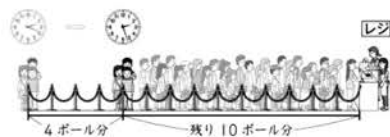


4

(3) はるとさんたちは、限定商品を買いたいと思っています。次の予定があるので、午後3時まではレジに着きたいと考えています。
列に並ぶと、レジまでは14ポール分ありました。ポールとポールの間の長さはどこも同じです。



はるとさんたちが並んでから、4ポール分進むのに8分かかり、残り10ポール分になりました。午後3時までは、残り33分間です。そこで、33分間以内にレジに着くことができるかどうかを考えてみました。



4ポール分進むのに8分かかったことから、残り10ポール分も同じ進みぐあいでも進むとして考えます。
 $8 \div 4 = 2$ で、1ポール分には2分かかります。
残り10ポール分なので、 $2 \times 10 = 20$ で、20分間かかります。だから、33分間以内にレジに着くことができます。

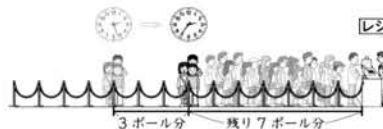
正答例

【求め方】 $9 \div 3 = 3$ で、1ポール分には3分間かかります。残り7ポール分なので、 $3 \times 7 = 21$ で、21分間かかります。

【答え】 21（分間） **【番号】** 1

ところが、レジにいる店員さんが減ってしまいました。それから、3ポール分進むのに9分かかり、残り7ポール分になりました。午後3時までは、残り24分間です。

そこで、はるとさんたちは、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを、もう一度考えてみました。



3ポール分進むのに9分かかったことから、残り7ポール分も同じ進みぐあいでも進むとして考えます。

3ポール分進むのに9分かかると進みぐあいでも進むとすると、残り7ポール分進むのにかかる時間は分間ですか。

求め方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。さらに、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを、下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

- 1 着くことができる。
- 2 着くことができない。

<誤答について>

【求め方】 3ポールで9分かかったから、6ポールは2倍の時間かかります。 $9 \times 2 = 18$ 残り1ポールだから、 $18 + 1 = 19$ で、19分間かかります。

【答え】 19（分間） **【番号】** 1

学習指導上の留意点

○ 場面の状況に応じて、数理的に捉え、数学的に表現・処理し、得られた結果から判断することができるようにする

場面の状況を解釈し、数量の関係に着目して筋道立てて考え、数学的に表現・処理し、得られた結果から判断することができるよう指導することが大切である。

指導のポイント

- ① 進んだポールの数と時間の関係を、図等を用いて考察し、1ポール分当たりにかかる時間を調べればよいといった見通しをもつことができるようにする。
- ② レジに着くまでにかかる時間を求め、条件に当てはまるかどうかを判断する活動を取り入れる。

・ 参考：授業アイデア例 31年度P.13～P.14

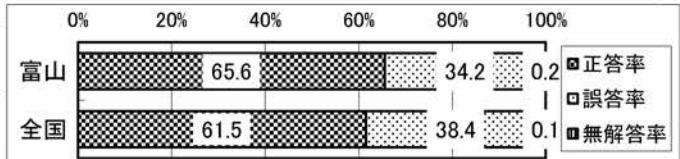
3 中学校「国語」

(1) 国語 問題番号1二 <正答率が低い問題>

学習指導要領の領域等：1学年 C読むことイ
 評価の観点：読む能力 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができるかどうかをみる。

- ・正答率は65.6%で、全国平均より4.1ポイント高いが、国語の中で3番目に低い。
- ・誤答については、二つの正答のうち、一つだけ正しく解答しているものが13.2%である。



1 問題用紙Ⅱの「全国中学生新聞」を読んで、あとの問いに答えなさい。

全国中学生新聞 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 文化 6

海外に広がる弁当の魅力



カスクルト

(シリーズ)再発見!
日本の文化

日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。例えば、「弁当 (bento)」、漫画 (manga)、「俳句 (haikai)」、「盆歌 (bonka)」。「折り紙 (origami)」は、英語やフランス語などの辞書に載っており、海外で受け入れられていることが分かります。本シリーズでは、この五つの日本の文化を取り上げ、五回にわたって、その魅力を紹介していきます。第一回は、弁当です。

アメリカのボックスランチやフランスのカスクルトなど、日本の弁当のように戸外に持ち出して食べるので親しまれています。そのような中、日本の弁当が海外の様々なメディアで取り上げられたり、国際的な弁当のコンクールが開催されたりしています。私たちが身近にあり、特別なものではない弁当が、今、海外で話題になっているのです。弁当の一番の魅力は、小さな箱の中にいろいろな料理が詰められていることです。主食、主菜、副菜、時には果物までがきれいに取まっています。そのため栄養バランスがよい食事とともに、海外でも注目されるようになったのです。トマトの赤色や卵焼きの黄色などをうまく並べて、鮮やかな色合いになるように工夫された弁当を見て、「まるで宝石箱のようだ」と言う海外の方もいます。

また、様々なデザインの弁当箱を好みに応じて選ぶことも、弁当の魅力の一つです。例えば、フランスのデパートの食器売り場でも、おしゃれでカワルな弁当箱がたくさん売られています。さらに、料理をおいしく食べるための優れた機能をもつ弁当箱もあります。例えば、日本に古くからある「曲げわっぱ」という木製の弁当箱は、木が湿気を吸うので料理が腐りにくく、食べ物の風味が保たれるという利点があります。美しい木目や色合い、木の香りなども楽しめる「曲げわっぱ」は、海外でも広く知られています。

弁当は、誰かのために作ったり、皆で持ち寄って和気あいあいと食べたりのこともあります。こうした人とのつながりをもつことができるのも、弁当の魅力です。最近では、日本だけでなく海外でも、インターネットを利用して、弁当の作り方や詰め方について交流する人が増えています。住んでいる場所も年齢も異なる人たちが、情報を交換し、仲間を作り、楽しんでいくのです。



曲げわっぱの弁当

このように、様々な魅力をもつ弁当は、世界に誇ることができる日本の文化の一つなのです。

次回は「漫画」を取り上げます。

- 二 「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを、次の1から5までのの中から全て選びなさい。
- 1 インターネットを利用して、様々な国の弁当を取り寄せることができる。
 - 2 主食、主菜、副菜などが取まっており、栄養バランスのよい食事をとることができる。
 - 3 ボックスランチやカスクルトなどとは異なり、戸外に持ち出して食べることができる。
 - 4 いろいろな料理が詰められているので、食べ物の風味を保つことができる。
 - 5 様々なデザインの弁当箱があり、自分の好みのものを選ぶことができる。

正答 2、5

学習指導上の留意点

- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を的確に理解することができるようにする
 説明、解説、論説等の説明的な文章を読む際には、文章の構成や展開を捉え、内容を的確に理解するように指導することが大切である。その際、生徒自身が目的意識をもって文章を読み、必要な情報を整理することができるように指導を工夫することが重要である。

指導のポイント

- ① 目的をもって文章を読み、必要な情報を過不足なく取り出すことができているかということに加え、どのようにすればその情報にたどり着くことができるのかについて検討するなどの学習活動を設定する。
- ② 目的に応じて、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係や事実と意見との関係を考えて読むように指導する。

・参考：報告書 24年度 P.146～P.150 4年間のまとめ【中学校編】 P.96～P.97
 授業アイデア例 23年度 P.3～P.4 30年度 P.5～P.6

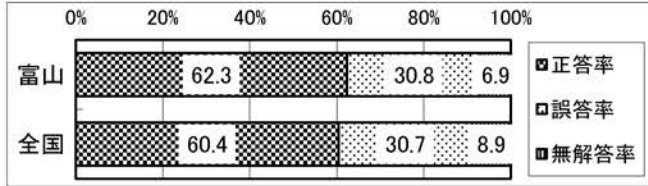
(2) 国語 問題番号 2三 <正答率が低い問題>

学習指導要領の領域等：1学年 A話すこと・聞くこと

評価の観点：国語への関心・意欲・態度、話す・聞く能力 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

- ・正答率は62.3%で、全国平均より1.9ポイント高いが、記述式の問題の中では最も低い。
- ・無解答率は6.9%である。
- ・誤答については、条件1を満たし実際に話すように書いているが、条件2を満たしていない解答が9.4%である。



正答例 「土足禁止」という表現をどのように直すのかについては、「土足のまま上がることは禁止しています。」とするのがよいと思います。

三 場面③のAで山下さんは、「どうするか決まっていけないこと」について自分の考えを述べようとしています。あなたなら、どのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていけないこと」とは何かを明確にして書くこと。

条件2 条件1で示した「どうするか決まっていけないこと」を解決する具体的な案を考えて書くこと。

この前、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少しの段差でも歩きづらいつ感じたり、段差に気付かず驚いたりしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさんいらっしゃるから、体育館へ向かう通路などに、「段差に気を付けてください。」と書いた紙を掲示してはどうでしょうか。

倉田さん 西野さん 山下さん

ネットにそのようなニュースが出ているのですね。掲示物で注意を促すのはよいアイデアだと思います。そういえば、校内に「土足禁止」という掲示物がありますが、展示や発表を見に来てくださる方に対する言葉の使い方としては、ふさわしくないと思います。別の表現にしてはどうでしょうか。

そうですね。段差への注意を促す掲示物を作ることにしましょう。「土足禁止」をどのような表現に直すのかについては、話し合えないといけませんね。以前から、私も気になっていました。

山下さんも気になっていたのですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

倉田さん 西野さん 山下さん

賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それでは、今日の話し合いはここまでですね。

ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりでと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていけないことがあります。

A

2 第一中学校の生徒会役員の山下さんたちは、「地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために」という議題で話し合っています。次は、「話し合いの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(場面①から場面③は、連続した場面です。)

話し合いの一部

場面① (略)

場面②

場面③

学習指導上の留意点

- 話し合いの話題や方向を捉え、自分の考えをもつことができるようにする
話し合いをする際には、話題や方向を的確に捉え、自分の考えをもちながら参加するように指導することが大切である。その際、必要に応じて話し合いの話題について確認したり、話し合いの経過を捉えたりすることができるように指導することも重要である。

指導のポイント

- ① 司会の進め方や記録の仕方等を確認した上で、実際に記録を取りながら話し合いを行うなどの学習活動を設定する。
- ② 話し合いの途中で、それぞれの発言の仕方について留意すべき点を確認させる。
- ③ 目指している到達点に向けて取り上げる話題をどのように絞り込めばよいかについて考えるよう助言し、話し合いの仕方を見直しながらか進めるよう指導する。

・参考：報告書 24年度 P.188～P.189
授業アイデア例 24年度 P.3～P.4 25年度 P.7 31年度 P.5～P.6

4 中学校「数学」

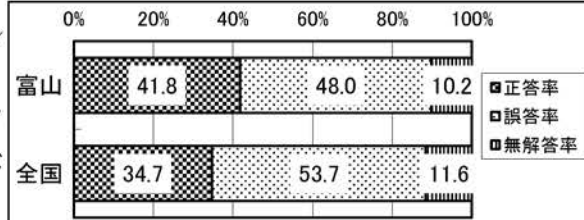
(1) 数学 問題番号6(2) <正答率が低い問題>

学習指導要領の領域：2学年 C関数 (1)イ、エ

評価の観点：数学的な見方や考え方 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

- ・正答率は41.8%で、全国平均よりも7.1ポイント高いが、全設問中2番目に正答率が低い。
- ・誤答については、方程式や与えられた式、グラフ等をどのように用いればよいか理解できていなかった生徒が31.9%（全国33.5%）である。



6 健太さんの家では、冷蔵庫の購入を検討しています。健太さんは、冷蔵庫A、冷蔵庫B、冷蔵庫Cについて調べたことを、次のような表にまとめました。
健太さんが作った表

	冷蔵庫A	冷蔵庫B	冷蔵庫C
容量	400 L	500 L	500 L
本体価格	80000 円	100000 円	150000 円
1年間あたりの電気代	15000 円	11000 円	6500 円

(2) 健太さんの家では、7ページの健太さんが作った表で、容量が500 Lである冷蔵庫Bと冷蔵庫Cのどちらかを購入することになりました。そこで、健太さんとお姉さんは、冷蔵庫を購入して x 年間使用するときの総費用を y 円として、冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用を比べてみることにしました。

健太さん「本体価格は冷蔵庫Cの方が高いので、最初のうちは冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が多いね。」
お姉さん「1年間あたりの電気代は冷蔵庫Cの方が安いので、使い続けると冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が少なくなるね。」
健太さん「それなら、2つの冷蔵庫の総費用が等しくなるときがあるね。」

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなるおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。
ア、イのどちらかを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ



〈正答の条件について〉

アを選択し、次の(a)について記述しているもの、または、イを選択し、次の(b)について記述しているもの。

(a) 方程式を解いて、使用年数を求めること。

(b) グラフの交点の座標から、使用年数の値を読み取ること。

(a) について、方程式を用いることのみを記述しているものは不十分。

(b) について、グラフを用いることのみを記述しているものは不十分。

正答例

〈アを選択した場合〉

・冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、使用年数と総費用の関係から連立方程式をつくり、それを解いて使用年数の値を求める。

〈イを選択した場合〉

・冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、使用年数と総費用の関係を一次関数のグラフに表して、その交点の座標を読み取り、使用年数の値を求める。

学習指導上の留意点

○ 問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにする

様々な問題を数学を活用して解決できるよう、問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、表、式、グラフ等の「用いるもの」とその「用い方」について明らかにすることが大切である。

指導のポイント

- ① 冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法について、「連立方程式をつくり、それを解いて求める」や「2つのグラフの交点の x 座標を読み取る」など、問題解決の方法を説明する場面を取り入れる。
- ② グラフや式を使って、問題解決するためのそれぞれの方法のよさを実感できるようにする。さらに、問題解決の過程を振り返り、立てた方法の見通しと、問題解決に用いた方法について比較・検討し、うまくいったことやうまくいかなかったことを場面と関連付けて整理することが大切である。

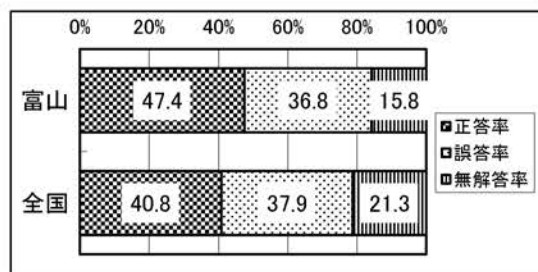
(2) 数学 問題番号8(2) <無解答率が高い問題>

学習指導要領の領域：1学年 D資料の活用(1)イ

評価の観点：数学的な見方や考え方 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

- ・無解答率が15.8%（全国21.3%）と高い。
- ・誤答については、(b)1日あたりの読書時間である26分が、度数が最大である階級に含まれていないことについて、度数の大小のみを記述し、(c)1日に26分くらい読書している生徒が多いといえそうだという考えは適切ではないことについて記述していない生徒が、10.1%（全国9.6%）であった。



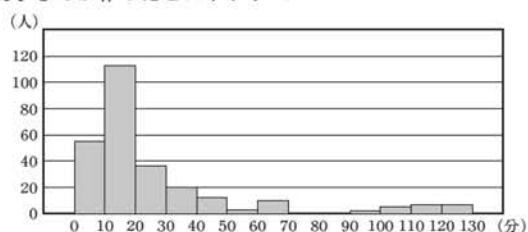
8

(2) 二人は、実施したアンケートをもとに、1日あたりの読書時間について、次のような表とヒストグラムにまとめました。桃子さんが作ったヒストグラムでは、例えば、1日あたりの読書時間が30分以上40分未満だった生徒が20人いたことを表しています。

航平さんが作った表

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間 (分)	26.0	120	0

桃子さんが作ったヒストグラム



二人は、上の航平さんが作った表と桃子さんが作ったヒストグラムについて話し合っています。

航平さん「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分くらい読書をしている生徒が多いといえそうだね。」
桃子さん「でも、ヒストグラムを見ると26分ぐらゐの生徒が多いとはいえないのではないかな。」

桃子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分くらい読書をしている生徒が多いといえそうだ」という考えは適切でないことがわかります。その理由を、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

〈正答の条件について〉

- ・次の(a)、(c)、または(b)、(c)について記述しているもの。
- (a) 1日あたりの読書時間である26分が、山の頂上の位置にないこと。
- (b) 1日あたりの読書時間である26分が、度数が最大である階級に含まれていないこと。
- (c) 1日に26分くらい読書している生徒が多いといえそうだ、という考えは適切ではないこと。

正答例

- ・1日あたりの読書時間である26分は山の頂上の位置にないので、1日に26分くらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。
- ・度数が最大となる階級は10分以上20分未満の階級であるので、1日に26分くらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。
- ・1日あたりの読書時間である26分が含まれる階級は、度数が最大となる階級ではないので、1日に26分くらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。

学習指導上の留意点

- 資料の傾向を捉えて、批判的に考察し判断した理由を、数学的な表現を用いて説明できるようにする。

代表値を求めたり、データの分布の様子を読み取ったりし、その傾向を捉えて、多面的に吟味し、よりよい解決や結論を見いだすことが大切である。

指導のポイント

- ① 平均値が代表値としてふさわしいかどうかをデータの分布の様子から検討し、判断する場面を設定する。データの分布の特徴を捉えて、説明すべき事柄とその根拠を明確にして説明できるようにする。
- ② 分布が非対称であったり、極端にかけ離れた値があったりする場合を取り上げ、目的に応じてどのような代表値を用いるべきかを考察する活動を取り入れる。

・参考：授業アイディア例 31年度P.11～P.12

5 中学校「英語」

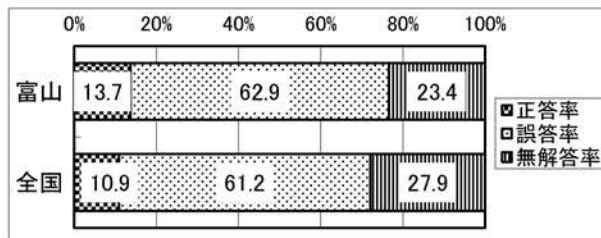
(1) 英語 問題番号8 <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領の領域：ウ読むこと(オ)

評価の観点：外国語理解の能力 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見等を捉えることができるかどうかをみる。

- ・正答率は13.7%で、全国平均より2.8ポイント高いが、「読むこと」の問題の中では最も低い。
- ・無解答率が23.4%（全国27.9%）で高い。
- ・誤答については、食料を無駄にすることをやめるために自分ができることを示していない生徒が39.2%（全国39.0%）いる。



- 8 英語の授業で、次のような資料が配られました。これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Programme gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. Japan is a member of this project. However, here in Japan, people waste more than 6,000,000t of food every year. It means that one person wastes two rice balls every day. We waste food not only at home, but also at restaurants, convenience stores, supermarkets, schools, and some other places. That is really *mottainai*! We have to stop wasting food now. What can we do about this problem?

(注) the World Food Programme:世界食糧計画（国際連合の事業）
project:事業 waste:～を無駄にする rice ball:おにぎり
not only～, but also...:～だけでなく、…も

正答例

We should not buy too much food.

学習指導上の留意点

- 英文を読むだけにとどめずに、読んだ内容について、自分の考えを整理して述べるようにする

読んだことについて、自分の考えを述べる際には、単に内容を理解するだけでなく、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解できるように指導することが大切である。

指導のポイント

- ① 読む目的に応じた要点を把握した上で、得られた複数の情報を取り出して総合的に判断し、内容に対する感想や賛否、自分の考え等を話したり書いたりして表現するなど、領域間の統合的な言語活動を設定する。
- ② 教科書等に取り上げられている環境問題等、社会的な話題に関する説明文を読み、書き手の主張を数文でまとめる活動を取り入れる。
- ③ 話題になっている問題に対して、自分ができること等についてペアやグループで尋ねたり伝えたりする活動を取り入れる。
- ④ ペアやグループで伝え合ったことを、最終的な自分の意見として簡潔に書いてまとめる活動を取り入れる。

(2) 英語 「話すこと」問題番号2 <全国の正答率(参考値)が「話すこと」の中で一番低い問題>

学習指導要領の領域：イ話すこと(ウ)

評価の観点：外国語表現の能力 問題形式：口述式

【出題の趣旨】 聞いて把握した内容について、やり取りすることができるかどうかをみる。

- ・全国の正答率は10.5%(参考値)である。情報や考え等を即座にやり取りしたり、相手の発話の内容を踏まえて、それに関連した質問や意見を述べたりして、会話を継続させていくことに課題がある。

2 スクリプト

あなたは、ユイコとアラン先生と話しています。まず、ユイコとアラン先生が、2人で話している場面から始まります。そのあと、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、会話が続いていくように英語で応じてください。解答時間は20秒です。それでは始めます。

アラン先生が見せている写真



A: Look at this picture of my family.
This is my favorite picture.
Y: Nice! Who is she?
A: Oh, she is my mother, Nancy.
And he is my brother, Tom. He can cook very well.
Y: I see. What kind of work does your mother do?
A: She is a teacher.
Do you have any other questions about them?

正答例 What kind of food does your brother cook?

学習指導上の留意点

- 聞いて把握した内容について、即興で応じたり質問したりできるようにする
日頃の授業で継続的にやり取りをする機会を増やして、即興で応じたり質問したりできる力を育てることが大切である。

指導のポイント

- ① 準備時間を設けず、最初から即興性のあるやり取りや場面を設定する。
- ② 会話の流れや話し手の意図を聞いて理解する力を身に付けることができるよう、教師と生徒の即興的なやり取りを行う。
- ③ 生徒にとってやり取りを継続・発展させる方法を使用するモデルとなるよう、教師自身が「会話を継続・発展させる方法」を意図的に用いて生徒との即興的なやり取りを行う。